

範囲や提出物を変更しました。この範囲表が正しい内容です。

## 2学年 定期考査3 範囲表

		教科	範囲	学習のポイント	提出物について
11 月 20 日 (月)		1 限  音 楽	○パートの役割と重なり方 My Voice 教科書P16, 17 ○翼をください ○音符・休符・記号・用語 教科書P97 ○指揮をするときのポイント 教科書P51	授業で学んだ内容やテスト範囲内を、教科書やワークを通して勉強しておこう！	ワークは定期考査が終了した後の次の授業で点検します。(〇付けをしておくこと)
			・教科書p57~82 ・英語ラボp82~p115	・詳しくは「定期テスト出る問題プリント」を見てください。	テストに向けて学習したもの(任意) 11/20 (月)
11 月 21 日 (火)		3 限  保 健 体 育	<保健分野>男女共通 P76~81、90~93	・授業中に指示します。	
			<体育分野> 女子：柔道、ソフトボール 実技書 男子：ソフトボール、柔道 実技書 P234~246、 P251~266 保体ノート P86~87 P88~89	・授業中に指示します。  女子：なし  男子：保体ノート 11/20 (月) 放課後に 体育係が番号順に並べて職員室に持ってくる。	
		1 限  国 語	「字のない葉書」「君は最後の晚餐を知っているか」「平家物語(P153までの内容)」「手紙の形式」「動詞の活用」  ・漢字ワーク <b>43~54</b> (P48~59)、 P70~71 ・中教研学力調査の漢字の読み書き ・カラープリント 8、10	・漢字の自主練習を重ねて、読み書きを完璧にしよう。 ・動詞の活用の種類を覚えよう。 ・字数制限に合わせてまとめて書く問題が苦手な人は、カラープリントで復習すると効果が上がるのでは試そう。	11/21 (火) ・自主学習ノート ・漢字ワーク  漢字ワークやノートは、授業中に連絡します。
			教科書 P138~189 (P180~181なし)  プリント 9 (肺呼吸の部分のみ) ~ 12、13の一部  ワーク P56~81	・食物を体に取りこみ、酸素と養分からエネルギーを取り出し、不要物を排出するまでの流れを理解しよう。 ・人間が感覚器官で刺激を受けとり、反応を起こす神経のはたらきを理解しておこう。 ・天気図の記号を書けるようになり、等圧線を正しく読みとれるようになろう。 ・何周でも繰り返し解き直してください。 ・実験レポート、プリント、ワークを振り返り、知識を定着させよう。	ワーク p60~81 プリント 12 11/21 (火) 教室の生徒ロッカーの上に出席番号順に整列して提出してください。

		技術	・教科書P142~P159 ・ハンドノートP66~P75 ・試験対策プリントNo.1(後日配布)	・ハンドノートを中心に出題します。関連する教科書の部分も確認しておくとよいです。	・ハンドノート ・試験対策プリントNo.1 ・電気レポート
	3限	家庭	教科書 P.116~121,127~141 ハンドノート P.62~67, P.69~73,	・教科書(特に太字)をよく読み、ハンドノートを3回繰り返し確認する。 ・被服製作に用いる道具の使い方を覚える。	ハンドノート(11/21(火)提出) ○付け、直しをする。 ☆家庭科係は、教室のロッカーの上に、出席番号順に並べておいてください。
11月22日(水)	1限	社会	<地理的分野> 教科書 P171~201 資料集 P32~47 ワーク本誌 P28~39 整理ノート P12~17 第2回定期考査 大問4 中教研学力調査 大問3	①教科書の太文字の単語は説明出来るようにしておこう! ②ワークの問題は2回やって間違えたところだけを3回解き直そう。	
	2限	美術	教科書 P36~39 感じる表す美術 P3~5、125 プリント 鳥獣人物戯画①② アートガラス① *実技 デッサン	①プリントで穴埋めした用語は確実に覚えよう。 ②実技試験があるので、デッサンの手順を振り返ろう。	・アートガラス下描き 未提出者はテスト終了後に職員室まで提出しに来ること。
	3限	数学	○教科書P.83~114 ・1次関数の利用 ・説明のしくみ ・平行線と角 ・合同な図形(三角形の合同条件) ○システムワーク 【前期】P52~57【後期】~P8 ○授業、宿題であつかったプリント (小テストプリ、評価テストプリ等)	・教科書・ワークで間違えた問題は何度も解き直しをしましょう。 ・プリントからも出題します。 ・システムから15点分出題します。 ・三角形の合同条件を書く問題をテストに出すので、しっかりと覚えましょう。	○授業ノート、ファイルは授業で指示します。 ○システム 11/22(水)、プリントでお知らせします。

- ① テスト直前になって慌てることがないように、しっかりとくみましょう。
- ② 学習計画表は、全ての試験範囲をもれなく学習できるようにしっかりと計画を立てましょう。
- ③ 課題の提出日は必ず守る。
- ④ 「学問に王道なし」  
こつこつ努力することを忘れず、どの教科もたくさん書いて覚えよう。